

## 2018 年度 ネットワーク形成事業助成 B “いのちをつなぐ”プロジェクト申込書(一次選考用)要項

※ 本要項を事前にお読み頂いた上で、申込書のご記入をお願い致します。

### I. ネットワーク形成事業助成B “いのちをつなぐ”プロジェクトとは

ネットワーク形成事業助成B “いのちをつなぐ”プロジェクトは、3・11 の地震・津波の自然災害と原発事故を受けて、社会、産業、地域そして生活のあり方を“いのちをつなぐ”という観点から捉えなおし、価値観の転換を図る、新しい時代への意欲的な取り組みを支援します。

次世代の担い手(中学生・高校生・20 歳未満)がプロジェクトの中核を担う事と「アウトリーチ活動」の実施を必須条件とします。

若い世代が「プラットフォーム」の中核を形成して、分野横断的な「ネットワーク」を構築しながら、SDGsを意識した“いのちをつなぐ”プロジェクトを推進して下さい。

- ・「アウトリーチ活動」とは、プラットフォームメンバーが取り組んでいるプロジェクトについて、特に小・中・高校生など若い世代や地域の方々とは対話することで交流を深め、共感や支援の輪が広がるような活動のことです。この活動は“いのちをつなぐ”プロジェクトの重要な実践的取り組みのひとつです。
- ・「プラットフォーム」とは、次世代の担い手(中学生・高校生・20 歳未満)を中核に「プロジェクト」を推進する学生、学校、教育機関、地域に生活する人々、専門家、NPO、民間事業者等さまざまな方々が共通の目的のために参画するチームのことです。
- ・「ネットワーク」とは、「プラットフォーム」メンバーが相互に結びつき、「プロジェクト」を推進するための新しいアイデアや機会を生み出し、それぞれの能力をいかに発揮できるような関係性のことです。

### II. 助成の趣旨

助成対象分野は、1. 循環型地域社会、2. 小規模再生可能エネルギー、3. 食といのち、4. 一次産業・地域産業、5. コミュニティ再生、6. 平和、7. 人権、8. その他です。各分野の共通テーマは“いのちをつなぐ”です。

### III. 助成の要件

1. 社会的課題に「対応する」既存の事業の継続や量的拡大ではなく、北海道の未来を見据え、新しい時代を「提起する」プロジェクトであること。
2. 2018 年度から始まり、2020 年度末までに自立を目指すプロジェクトであること。
3. 毎年度、同じような事業の繰り返しではなく、各年度の事業計画が着実に質的なステップアップをすること。
4. もっぱら営利のみを目的としたプロジェクトではないこと。
5. プロジェクトの主要部分が外部委託ではないこと、また特定団体への資金援助ではないこと。

6. プラットホームメンバーが、分野横断的で広く開かれた構成であること。
7. 宗教活動や政治活動を行うことを目的とするプロジェクトではないこと。
8. 国や地方自治体の補助対象事業ではないこと。
9. プロジェクトに関して、アウトリーチ活動やホームページ・ブログ・ニュースレター・チラシ等を通じて、積極的に情報発信すること。

#### IV. 助成金、助成期間

##### 1. 助成金

###### (1) プロジェクト 1 件当たり年間最大 50 万円

※2 年目・3 年目の助成金額については、選考委員会において前年度の活動実績を踏まえ、助成金額を変更する場合があります。6 月開催予定の理事会・評議員会で審議し、その決議を経て正式決定します。

###### (2) 2 件の採択を予定

##### 2. 助成期間

原則として 3 年間(2018 年度～2020 年度)の継続助成

#### V. 助成金の使途

1. 助成が決定したプロジェクト推進のための経費
2. 使途の範囲、費目別の支出上限、各費目間の支出比率条件についての制限はありません。

#### VI. 選考について

##### 1. 2 段階方式

- (1) 選考委員会において、一次選考及び二次選考を行います。
- (2) **一次選考** : 申込書による選考を行い、二次選考に進むプロジェクトを選びます。
- (3) **二次選考** : プロジェクト代表者を含む若干名の方に、財団事務局へお越し頂き、選考委員との質疑応答をお願いします。

##### 2. 選考から助成決定までの日程

- (1) **一次選考申込受付: 2 月 1 日(木)～3 月 15 日(木) 当日消印有効**
- (2) 二次選考に進むプロジェクト発表: 4 月下旬までに、ご連絡致します。
- (3) **二次選考: 5 月 12 日(土)**
- (4) 助成決定プロジェクト発表: 6 月中旬(予定)
  - ※ 6 月開催予定の理事会・評議員会で審議し、その決議を経て正式決定します。
  - ※ 採否結果と選考委員のコメントは、プロジェクト責任者に書面で通知します。
  - ※ 採否の理由等、選考に関わる内容に関してのお問合せには応じかねますので、あらかじめご了承下さい。
- (5) 助成金振込み: 7 月中旬(予定)

#### VII. 審査基準

1. 提案されたプロジェクトが、**本助成の趣旨**に合致しているか。

2. 未来志向的で時代を先取りする実践的なプロジェクトを目指しているか。
3. プロジェクトの**実施計画、収支計画**が適切か。
4. 各年度の事業計画が着実に質的なステップアップを実現しているか。また、自立を目指すプロジェクトであるか。
5. **プラットフォームメンバーの中核は若い世代であることを必須条件としているが、同時に世代別や構成にも配慮しているか。**
6. **ネットワーク構築に意欲的であり、ネットワークが十分に多様な広がりを持っているか。**
7. 広く市民や地域社会に新しい時代を**提起する**プロジェクトであるか。
8. 波及効果や公益性等の面で、プロジェクトの成果が期待できるか。
9. プロジェクトが次世代へ途切れずに持続可能(“いのちをつなぐ”)である事と、**アウトリーチ活動への取り組み姿勢**を重視する。

## VIII. 一次選考の申込書要項、申込書について

助成が決定した場合、**2018 年 9 月 5 日(水)**に開催する秋山財団贈呈式にご出席頂きます。  
 学校行事等への出席の為、当日の欠席が確定、或いは欠席を予定している場合には、申込前に必ず事務局へお問合せ下さい。

### 1. 申込書要項・申込書の入手方法

当財団ホームページからダウンロードして下さい。パソコンを使用しない方は、当財団へご請求下さい。  
 財団事務局の住所、電話番号等は、本要項をご覧下さい。

### 2. 受理No.の通知

- (1)「住所シールと 82 円切手を貼った」封筒(長形 3 号:120×235 mm)2 通を申込書と一緒にご同封下さい。  
 住所シールには、プロジェクト責任者の「郵便番号」・「住所」・「プロジェクト名」・「氏名(様を付けて下さい)」をご記入下さい。また、住所シールの右上には、「**ネットB**」とご記入下さい。住所シールをお使いにならない場合は、手書きでも構いません。
- (2)2 通の封筒は、受理No.のお知らせと選考結果をお知らせする際に使用致します。

### 3. 申込書のセット

- (1)申込書は「**5 部**」(正 1 部、副 4 部)をご用意下さい。副 4 部はコピー可です。また、申込書の**左上 1 箇所をホチキス**で止めて下さい。
- (2)「住所シールと 82 円切手を貼った」封筒(長形 3 号:120×235 mm)2 通も忘れずにご同封下さい。
- (3)ご提出頂きました申込書はご返却出来ませんので、あらかじめご了承下さい。
- (4)**プロジェクトに関連する付属資料等は不要**です。必要な場合には当財団事務局よりご連絡致します。

### 4. 申込書の発送

- (1)当財団への発送に当たっては、簡易書留・宅配便・レターパックにて必ず配達記録の残る方法でお送り下さい。
- (2)FAX、E-mail での申込は出来ませんので、ご注意下さい。
- (3)送付先は、以下です。

## 5. 個人情報の取り扱い

申込書にご記入頂いた個人情報は、本助成事業の選考のみに使用します。ただし、助成が決定した場合にはプロジェクト内容、代表者氏名等を公表致します。

## Ⅸ. 助成が決定した場合について

### 1. 協定書の取り交わし

プロジェクト代表者には、当財団と「協定書」を取り交わして頂きます。

### 2. プロジェクト訪問

プロジェクトに関する企画等のご案内を頂いた場合には、当財団の事務局や役員等が参画することがあります。その際に、現状や今後の見通し等についてお話をさせていただきます。

### 3. 企画書の提出

プロジェクトの実施については、事前に「企画書」を協定書の取り決めに従って、半年に 1 回ずつご提出頂きます。

### 4. 途中経過の報告

プロジェクトに関する「事業報告書」、「助成金報告書」を協定書の取り決めに従って、半年に 1 回ずつご提出頂きます。

### 5. 「アウトリーチ活動」への参画

当財団では、全道地域を対象として、若い世代、研究者、地域づくりの担い手、地元の教育機関、過年度受領者・受賞者等の連携を一層強化しながら、「アウトリーチ活動」を推進しています。「アウトリーチ活動」の会場となる地域で活動されている場合には、ご参画をお願い致します。

### 6. 原稿執筆

この助成に関して、メディアや行政等の外部機関から問い合わせがある場合には、プロジェクトに関する原稿の執筆をご依頼致します。

### 7. 『秋山財団年報』への寄稿

当財団では、前年度の事業を総括する『秋山財団年報』を毎年度発行しています。この年報に原稿の執筆をお願い致します。

### 8. 最終報告書の提出

3 年間に亘るプロジェクトが終了した後、「最終報告書」をご提出頂きます。

## X. 申込書提出上の注意点

1. パソコン入力のフォントは MS ゴシック・9～10.5 ポイントを基本とし、英数字は半角として下さい。  
手書きの場合は黒インクを使い楷書でご記入下さい。
2. 申込書の余白や文字数・行数の設定を変更しないで下さい。
3. 各項目は、そのページに収まるようにして下さい。
4. 各項目の下にある【メモ】欄は、事務局使用欄です。
5. 記載する年はすべて西暦でご記入下さい。

6. 申込書は片面印刷として下さい。

## XI. 申込書記入上の注意点

※ 当財団で設定した各項目・タイトル・レイアウトは変更しないで下さい。

### A. プロジェクト

1. プロジェクト名は、簡潔かつ具体的な表現で、**30 文字以内**でご記入下さい。
2. プロジェクト概略は、**80 文字前後**で簡潔にご記入下さい。
3. 助成対象分野は、以下から一つ選んでご記入下さい。「その他」の場合には、カッコ内に具体的分野をご記入下さい。

|            |               |        |     |
|------------|---------------|--------|-----|
| ●循環型地域社会   | ●小規模再生可能エネルギー | ●食といのち |     |
| ●一次産業・地域産業 | ●コミュニティ再生     | ●平和    | ●人権 |
| ●その他( )    |               |        |     |

4. 活動場所は、施設名、屋外フィールド、市町村、地域等を具体的にご記入下さい。

### B. 助成金希望額

1. 助成金希望額は一律 50 万円ではありませんので、お申込プロジェクトの計画に合わせてご算定下さい。単位は万円(万円未満は切り捨て)です。
2. 助成金希望額は、各年度の収支計画「当財団からの助成金収入額」及び「当財団からの助成金による支出合計額」と一致させて下さい。

### C. プラットホームメンバー

#### 【代表者】

1. 氏名にはフリガナをお付け下さい。捺印も必要です。プロジェクト内の役割をご記入下さい。
2. 所属団体、役職、E-mail、携帯電話をご記入下さい。該当のないものについては、「なし」とご記入下さい。
3. 住所には郵便番号を付けて下さい。また、枝番地、マンション名等も正確にご記入下さい。

#### 【責任者】

1. 当財団から連絡をする場合の窓口をご担当される方です。申込書の記載内容、プロジェクトの全体を十分に把握しており、全般的責任を担う方をご記入下さい。また、当財団からの郵便物の送付先となります。氏名にはフリガナを付けて下さい。また、プロジェクト内の役割もご記入下さい。
2. 所属団体、役職、E-mail、携帯電話をご記入下さい。該当のないものについては、「なし」とご記入下さい。
3. 住所には郵便番号を付けて下さい。また、枝番地、マンション名等も正確にご記入下さい。

#### 【主たるプラットホームメンバー及びプラットホームメンバー】

上記をご参照の上、ご記入下さい。

なお、主たるプラットホームメンバー3 名については、連絡先(E-mail・携帯電話)の記載が必要です。

## D. 申込プロジェクト

1. みなさんが目指す“いのちをつなぐ”プロジェクトとは〈・概要(背景、「問題点」)〉  
「概要」には、プロジェクトを取り囲む地域的事情や社会的状況などの「背景」を踏まえてご説明下さい。  
また、プロジェクトを推進する際の「問題点」についてもご説明下さい。
2. プロジェクトに込める想いはどのようなものですか〈・理念・意気込み・理由〉  
プロジェクトに込める想いには、活動の「理念」、プロジェクトに取り組む「意気込み」、プロジェクトを立ち上げようと思いついた「理由」、ネットワーク形成をして北海道から何を発信したいのか等を述べて下さい。
3. プロジェクトが提起する取り組み、「問題点」の解決方法とは〈・取り組み・「問題点」の解決方法〉  
「取り組み」、「問題点」の解決方法」には、上記(1. みなさんが目指す“いのちをつなぐ”プロジェクトとは)の「問題点」を解決するために提起する取り組みやアイデアをご説明下さい。その場合、従来の取り組みには見られない「斬新な点」、「独創的な点」をご説明下さい。
4. プロジェクトが生み出すものは何ですか〈・成果・展望(目標)〉  
「成果」には、「問題点」を解決することで地域社会にどのような効果を生み出すのかをご説明下さい。  
その効果は社会的課題に「対応する」に留まらず、広く市民や地域社会に新しい時代を提起する意欲的なものを期待します。また、「展望(目標)」にはプロジェクトの将来像を述べて下さい。
5. プロジェクトが推進するネットワークのイメージ  
ネットワークのイメージには、SDGs(Sustainable Development Goals :持続可能な開発目標)を意識して、時代を先取りするネットワークを自由な発想で創造的にご提起下さい。  
プラットフォームメンバーや現場スタッフがそれぞれの役割を担いながら 相互に連携をとり、プロジェクトを推進するために、どのようにネットワークを組み立てて組織運営していくのかを図示して下さい。  
ネットワーク図においては各役割のグルーピングを行うと共に、それぞれの役割を明記願います。また、ネットワークが目指すゴールをお示し下さい。

## E. アウトリーチ活動

秋山財団の設立趣意書には、「生命科学の振興と地元の人材育成及び地域産業の振興に貢献するとともに、道民福祉の向上に寄与したい」と明記されており、道民との積極的なコミュニケーションを図るプロジェクトを支援します。

プロジェクトがこれまで実施した「アウトリーチ活動」と、プロジェクトが持っている可能性を基に「地域の多様な市民」を対象に実施する今後の「アウトリーチ活動」の計画をご説明下さい。

詳細は、財団ホームページ“秋山財団からのお知らせ”にて当財団がこれまで実施した「アウトリーチ活動」の事例をご紹介しますのでご参照下さい。また、ご相談のある方は、財団事務局へお気軽にご連絡下さい。

贈呈式は、秋山財団の事業の集大成として行われる大切な場と位置付けております。受賞者、受領者はもちろん、財団理事・監事、評議員、選考委員の他に賛助会員、歴代の財団関係者、大学関係者、ご来賓、そして市民の方が参加する秋山財団最大の「アウトリーチ」の場です。ちなみに2017年度贈呈式には、延べ450人を超える方にご参加頂きました。  
その様子を当財団ホームページに動画・写真にて掲載しておりますので、ご覧下さい。

※ 財団が行う「アウトリーチ活動」には、積極的に参加して頂きます。また、申込者が企画するアウトリーチ活動については、財団事務局が全面的に支援致します。

## F. 活動計画・到達目標

1. 活動計画には、2018 年度から 2020 年度にプロジェクトとして実施する作業を、年度(4 月～3 月)の月別で箇条書きして下さい。各年度の活動計画は、着実に質的なステップアップを目指す内容とします。
2. 到達目標には、上記の活動計画に対応させて、目標を箇条書きして下さい。

## G. 2018 年度収支計画

1. 収入、支出については、申込書記入時点で考えられる予定についてご記入下さい。  
なお、支出はネットワーク構築やアウトリーチ活動等に配慮した計画として下さい。
2. 「収入計画」には、各項目の内訳、金額、合計金額をご記入下さい。単位は、**万円**(万円未満を切り捨て)です。当財団からの助成金額は「B. 助成金希望額」欄で記入した金額と一致させて下さい。  
当財団からの助成金以外の収入は、予定で構いませんが、既に確定済みの収入については、内訳欄に(確定)とご記入下さい。
3. 「当財団からの助成金による支出」には、費目、内訳、金額、合計金額をご記入下さい。内訳については分かる範囲で、単価、数量、人数等の概数をご記入下さい。単位は、円です。
4. 「当財団からの助成金以外による支出」には、費目、内訳、金額、合計金額をご記入下さい。内訳については分かる範囲で、単価、数量、人数等の概数をご記入下さい。単位は、円です。

## H. 2019 年度収支概算(分かる範囲で、ご記入下さい)

1. 「収入概算」のうち「当財団からの助成金」は、「B. 助成金希望額」欄で記入した金額と一致させて下さい。「その他」には、自己資金・事業資金・寄附金・当財団以外からの助成金等について、予定金額を概数でご記入下さい。また、合計金額もご記入下さい。単位は、**万円**(万円未満を切り捨て)です。
2. 「支出概算」には、予定される費目とその金額、合計金額を概数でご記入下さい。単位は、**万円**(万円未満を切り捨て)です。なお、ネットワーク構築やアウトリーチ活動等に配慮した計画として下さい。

## I. 2020 年度収支概算

上記を参照して下さい。

## J. 補足提案

項目(D、E、F 他)について補足提案があればご記入ください。図・表・写真も可です。

## 【事前相談】

以上、ご説明しました申込書の記入等について、**事前相談**を受け付けておりますので、お気軽にご連絡下さい。ご相談は、以下の TEL、FAX、E-mail のいずれかをお願い致します。

### < ご参考 >

当財団ホームページに、これまでの「ネットワーク形成事業助成」について掲載しております。

ご参考までにご覧下さい。

なお、現在事業継続中のプロジェクトは以下の通りです。

【2015 年度採択 : 4 件】

- プロジェクト 1 『厳冬期の災害に向き合い、「地力(ちぢから)」の向上でいのちを護る』
- プロジェクト 2 『「生きづらさ」を原動力に「生きること」の意味を再発信!』
- プロジェクト 3 「北の高校生会議」
- プロジェクト 4 「明日のニセコエリアの礎は私達が創る“本物の農”の営みから!」

【2016 年度採択 : 3 件】

- プロジェクト 5 「さっぽろ下町プロジェクト ～ヒトとマチをつなぐ」
- プロジェクト 6 『「遊び(Play)」として行うスポーツで「生き抜く力」を高くする』
- プロジェクト 7 「ニウパレーの周知とブランディング」

【2017 年度採択 : 3 件】

- プロジェクト 8 「北海道自伐型林業推進プロジェクト ～誰もが参画できる林業新時代へ～」
- プロジェクト 9 「わくわくドキドキ古着で作る循環型社会 ～つながろう北海道」
- プロジェクト 10 「世代をつなぐ森づくりプロジェクトと芸術祭」

〒064-0952 札幌市中央区宮の森2条11丁目6番25号

公益財団法人 秋山記念生命科学振興財団 事務局

TEL:011-612-3771

FAX:011-612-3380

E-mail: office@akiyama-foundation.org

<http://www.akiyama-foundation.org>

**※ 次ページにアンケートがあります。ご協力下さい。**

## 2018 年度 ネットワーク形成事業助成Bアンケート

今後の参考と致しますので、ご協力をお願い致します。

以下の項目にご回答の上、申込書と一緒に「1部」をお送り下さい。

★「プロジェクト名」をご記入下さい。

|  |
|--|
|  |
|--|

1. ネットワーク形成事業助成の助成情報を「最初に知ったルート」はどれでしょうか。該当する数字に○をお付け下さい。【           】内には具体的な名称等をご記入下さい。

|        |                                     |
|--------|-------------------------------------|
| A 紙媒体  | 1 新聞→紙名<br>【 】                      |
|        | 2 当財団のチラシ→設置場所<br>【 】               |
|        | 3 その他→具体的に<br>【 】                   |
| B 電子媒体 | 4 当財団ホームページ                         |
|        | 5 メールリングリスト→発信元<br>【 】              |
|        | 6 その他→具体的に<br>【 】                   |
| C 関係者  | 7 当財団関係者から<br>【 】                   |
|        | 8 上記以外でネットワーク形成事業助成を知っている人から<br>【 】 |
|        | 9 その他→具体的に<br>【 】                   |
| D その他  | 10 具体的に<br>【 】                      |

2. 申込書要項、申込書についてご意見をお願い致します。

|  |
|--|
|  |
|--|

3. ネットワーク形成事業助成で、当財団へのご要望・ご意見等をお願い致します。

|  |
|--|
|  |
|--|

アンケートにご協力頂き、有難うございました。